

褥瘡 診療計画書 危険因子→計画文 変換メモ

※ 正式様式ではなく、厚労省の褥瘡対策に関する診療計画書を埋める前の補助メモです。

対象者 / 患者 ID _____	記入日 _____	記入者 _____
----------------------	--------------	--------------

1. 危険因子→計画文 変換例

主因	観察で書く事実	計画文の型
体位変換困難	自動体動乏しい、介助で体位変換	2時間毎に体位変換し、夜勤帯も実施する
ずれ	座位で前滑りあり、仙骨部ずれ	座位・背上げ時は除圧と再配置を行い、ずれを減らす
湿潤	尿失禁あり、仙骨部の湿潤が続きやすい	失禁後は速やかに交換し、皮膚保護を継続する
栄養	摂取量6割、体重減少あり	摂取量を確認し、必要時は栄養管理へ共有する
活動	長時間臥床、離床時間が短い	離床時間を調整し、臥床時の圧を再評価する
支持面	既存マットレス/クッションが合いにくい	体圧分散用具を見直し、適合を確認する

2. 局所所見を短く残す語

項目	短く書く例	これで次に決まること
深さ	持続する発赤 / 真皮まで / 皮下まで	観察間隔、共有の優先度
滲出液	なし / 少量 / 中等量 / 多量	交換頻度、被覆材の調整
周囲皮膚	発赤 / 浸軟 / 浮腫 / びらん	スキンケア、ずれ対策
疼痛・壊死 / 肉芽	体位変換時痛あり / 壊死少量 / 肉芽不良	体位保持、創管理の優先度

3. 先に入れると回りやすい4点

<input type="checkbox"/> 次回の確認日を先に入れた <input type="checkbox"/> 変更条件（悪化 / 改善 / 体位変更 など）を書いた <input type="checkbox"/> 共有先（病棟 / チーム / カンファ）を決めた <input type="checkbox"/> 栄養管理・薬学的管理の扱いを確認した	メモ _____ _____ _____ _____ _____ 使い方：危険因子の根拠を短く書き、右に『今日変えること』を1つ残します。
---	--